



FUKUSHIMA

ふくしま型ユニバーサルデザイン

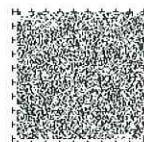
UNIVERSAL

—「いのち・じんけん人権・じんかく人格のそんちょう尊重」のじつげん実現に向けて—

DESIGN



福島県



ユニバーサルデザインって知っていますか？

すべての方が安全・安心して快適に生活
 できるような社会(まち)をつくる考え方の
 ことです。子どもも大人も、男の方も女の
 方も、身体の不自由な方もそうでない方も、
 いろいろな方のことを考えて設計(デザイン)
 するのが、ユニバーサルデザインです。

いわば、「思いやり」を社会全体でシス
 テム的に実現していこうということです。



自動ドアは、
 身体の不自由な
 方にも、荷物を
 もっている方に
 も便利です。

絵をつかった案内標示なら、字の読めない
 子どもや、外国の方にも分かります。



バリアフリーと、どちらがうのでしょうか？

バリアフリーは

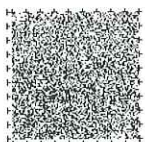


特定の人を対象として、す
 ぐらにあるバリア(障壁)を取
 りのぞくこと。

ユニバーサル
 デザインは



はじめから、すべての人
 にとって、利用しやすい
 ように考えること。



【SPコード】

この中に、文字情報が記録されています。
 専用の読み取り装置をつかって、音声など
 で出力できます。



なぜユニバーサルデザインが 必要なのでしょう？

これまでの、いろいろなものやサービスなどは、
「健康な大人の男性」を対象としてつくられてきま
した。

でも、実はこの「健康な大人の男性」に当ては
まらない方はたくさんいるのです。

国籍、言葉、
文化の違う方

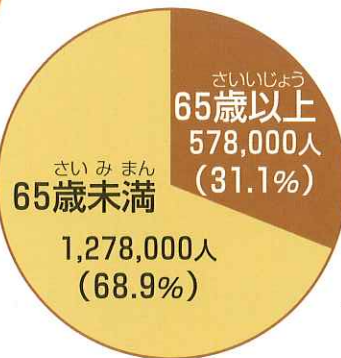
ふくしまに住む方
や訪れる方が、み
んな日本語が得意
なわけではありません。

身体の
不自由な方

自由に
動けない方

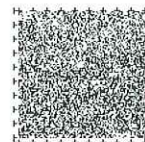
子どもや
お年寄り

誰でもはじめは子どもです。
そして、誰でも年をとります。
2030年には3人に1人が65歳
以上になると言われています。



2030年の
福島県の
推計人口

わたしたち自身のために
ユニバーサルデザインを進めていくこと
が必要なのです。



「ふくしま型ユニバーサルデザイン」

ふくしまけん
福島県では、施設や交通手段などのまちづくりや、製品の普及
や開発などを行うものづくりといった「かたちのあるもの」だ
けではなく、情報やサービス、そしてこのころのユニバーサル
デザインなど「かたちのないもの」にも力を入れています。



（このころのユニバーサルデザイン）

お互いを理解し思いやる気持ち、それが
「このころのユニバーサルデザイン」です。

いくら設備が整っていても、つかう方の
ことを理解していなければ意味はありま
せん。また、設備が整っていない場合で
も、少しの手助けで解決できることもあ
ります。

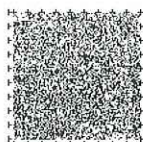
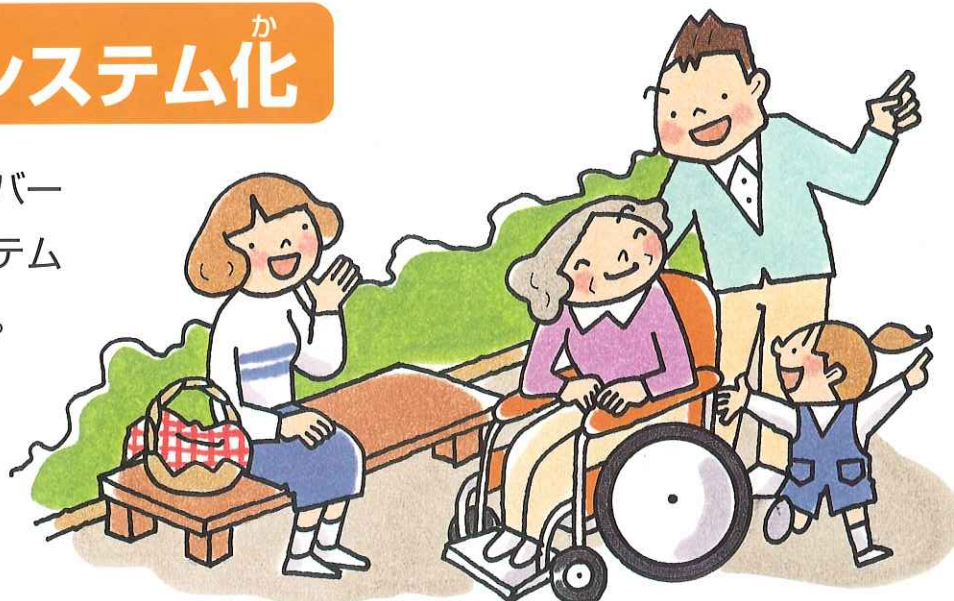


点字ブロックの
上に止められた
自転車。

「ふくしま型ユニバーサルデザイン」のキーワード

“思いやり”をシステム化

“思いやり”のころをユニバー
サルデザインで、社会のシステム
としてかたちにしていきます。



（ 県の取り組みの例 ）

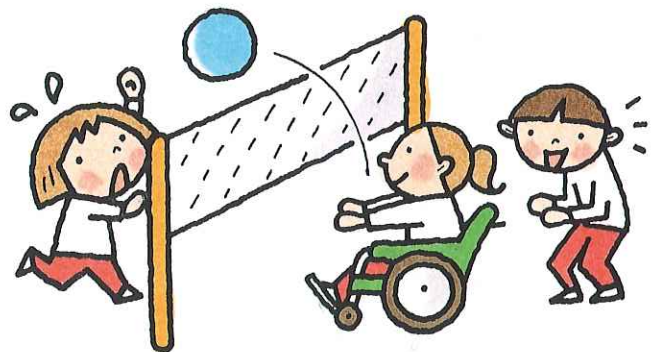
福島県では、「ふくしまユニバーサルデザイン推進指針（改訂）」に基づき、「意識づくり」「こころ」「暮らし」「まちづくり」「ものづくり」「サービス」「情報の7つの分野で、ユニバーサルデザインに取り組んでいます。



ユニバーサルデザインについて学ぶセミナーや研修会などの開催。



県民参加のまちなかチェック
誰もが利用しやすい施設の整備。



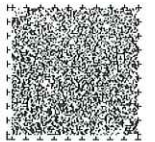
障がいのある子どもない子ども、ともに学び生活する環境づくり。



インターネットなどを利用した、いつでもどこでも入手できる情報サービスの提供。



誰もがつかいやすい製品開発の支援。



ユニバーサルデザインを探してみましよう!

たとえば「みんなにわかりやすい」
「みんながつかいやすい」 「みんなに安全」 など

パネル型スイッチ

すく ちから しょうさ
少ない力で操作
できます。



ハンドル式の蛇口



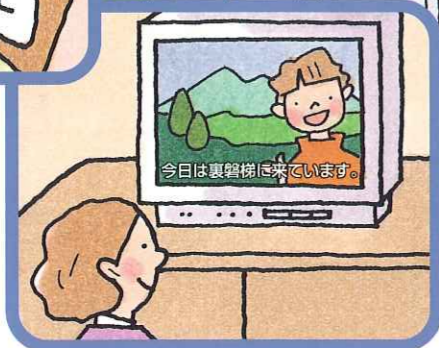
シャンプーボトルのギザギザ



大きな文字の新聞、雑誌



テレビの字幕放送



だれにでも利用しやすいトイレ



インターネット

いながらにして情報にアクセス
おんせい
音声ソフトにも対応。



絵文字入り案内図



音声案内システム



ステップのない入り口



乗り降りが楽な低床バス

高さのちがうカウンター

さまざまなお客様のために。



階段とエレベーター、エスカレーターのある登り口

好きな方を選べます。



いまあるものを
みなお
見直してみよう！

わたし
私たちのできること

できることから
はじめよう！

ものや制度に人を合わせてい
ませんか。不便なことに気が
ついたときは声をあげること。
また、良いものを見つけたら
ほめることも大事です。



き
気がついたこと、できる
ことから始めましょう。



もっとよくユニバーサルデザイン について知りたい方は…

くらしと環境の県民講座

がっこう だんたい けんちょうしょくいん
学校や団体などへ県庁職員がおうか
がいし、ユニバーサルデザインなど
についてわかりやすくお話しします。

たんとう せいかつ かんきょうぶ そうむ ぎかく
担当：生活環境部総務企画グループ
でんわ
電話：024-521-7156
FAX：024-521-7918

[ホームページ] <http://www.pref.fukushima.jp/kenminkikaku/demae.html>

ふくしまユニバーサルデザインホームページ

ユニバーサルデザインについての解説、県の取り組みをご紹介します。

[ホームページ] http://www.pref.fukushima.jp/kenmin/u_d/

ふくしま“ユニバーサルデザイン”メールマガジン

けんない さいしんじょうほう じれい し はっこう
県内の最新情報や事例などをお知らせするメールマガジンを発行しています。

[ホームページ] http://www.pref.fukushima.jp/kenmin/u_d/recruit/recruit_a001.html

ふくしまけんせいかつ かんきょうぶ じんけんだんじよきょうせい
福島県生活環境部人権男女共生グループ

〒960-8670 福島市杉妻町2-16

でんわ
電話 024-521-7188 FAX 024-521-7887

Eメール jinken@pref.fukushima.jp

ホームページ http://www.pref.fukushima.jp/kenmin/u_d/

